

◆コロナ影響下の社会を考えるpart4

令和3年1月の市長選挙を経て、伊勢崎市長が交代となりました。ひじやすお新市長は、次の世代へ引き継ぐまちづくりを掲げ、持続可能な伊勢崎市をつくっていくことを表明しております。コロナウイルスは我々の生活様式を変え、地域経済に大きな打撃を与え、日常的に体を動かす健康的な生活から遠ざけました。持続可能な伊勢崎市であるためには、市民と地域と経済が元気でなければなりません。五十嵐前市長と同様、ひじ新市長とも真剣に議論を行い、伊勢崎市の課題についてはしっかりと指摘をさせて頂く事を皆さんにお約束いたします。



◆直近のコロナウイルスの支援事業（県）の紹介

*新型コロナウイルスによって影響を受けている分野は広範囲である事を皆さんのご意見から承知しております。今後とも様々なご意見・ご指導をお寄せください。なお、このピラの配布時に、事業が変更・終了している場合もありますので、十分にご確認ください。

事業名	事業概要	問い合わせ
飲食関連事業者等事業 継続支援金	群馬県の営業時間短縮要請の対象地域の飲食店と直接的な取引があり、令和3年1月又は2月の事業収入（売上）が前年同月比で30%以上減少した県内に事業所を有する中小・小規模事業者及び個人事業者。＜主な対象事業者＞飲食料品、割り箸、おしぼりなど飲食業に材料・サービスを提供する事業者、タクシー事業者、運転代行業者等個人事業者：上限20万円、法人：上限40万円を支給	飲食関連事業者等事業 継続支援金コールセンター（群馬県） 受付時間：午前9時から午後5時まで（土日・祝日含む）
愛郷ぐんま プロジェクト	群馬の経済の大きな落ち込みを早期に解消するため、県内の1泊税込み6600円以上の登録宿泊施設に宿泊した群馬県民に5000円の割引又はキャッシュバック。 利用期間：令和3年3月26日（金）宿泊分～令和3年5月31日（金）宿泊分 *感染状況によって中止の可能性あり	愛郷ぐんまプロジェクト第2弾「泊まって！応援キャンペーン」事務局 TEL：027-243-7274

*経済か命かの選択ではなく、国民にとって経済は糧でもあり、生活でもあり、命という考えの元、事業紹介しました。

ご意見お寄せください！

住所：伊勢崎市太田町1146-7 メール：swrmg866@ybb.ne.jp
電話：090-7836-3135(電話取れない時は折り返し電話します)
馬庭 充裕 (まにわ みつひろ)

—伊勢崎市議会議員— いせさき未来代表 1978年11月22日生まれ。42歳
尚学館中学（宮崎県）、日高高校（和歌山県）を経て、群馬大学卒業(理学療法士・呼吸療法認定士)。美原記念病院に勤務後、現職。市内太田町在住、家族は妻・娘・息子。
座右の銘：未来を予測する最善の方法は、自らそれを創りだすことである。

コロナ対策について市長に要望を行いました！（令和3年2月2日）

1. 新型コロナウイルスワクチンの接種について
 - ①ワクチン相談センターの設置
 - ②休日・夜間・集団・訪問接種体制の整備
 - ③未接種者が差別を受けないような啓発や配慮
2. 医療機関のひっ迫防止について
 - ①本市独自の協力金を
 - ②福祉施設における一斉検査の助成を
 - ③福祉施設の感染対策実地指導を
3. 自宅療養者の急変対策について
 - ①酸素飽和度の簡易測定機器の確保、電話・往診・オンライン診療体制の確立についての検討。
4. 緊急雇用対策について
 - ①新たな技能・資格を得て就職活動を有利に行うための公的資格等取得支援を
5. その他について
 - ①外国籍の方の感染傾向から市の対応を示す事



市の対応は？

伊勢崎市は、2/5に緊急事態宣言を発出し、①外国人関係の店舗・施設の訪問啓発、多文化共生キーパーソンのご協力による啓発、②高齢者施設の訪問啓発、③ワクチン相談コールセンターの設置（3/1）を行いました。元々、検討していた事とは思いますが、素早い対応を評価しております。

思い付きではなく、情報収集と分析の元に政策提案を実施しております



上記の福祉施設及び外国籍住民への啓発強化の提案は、感染経路を詳細に分析している東京都のデータにおいて施設・家庭感染がほとんどである事、群馬県知事が昨秋に東毛地域の感染者増加の原因として、8割前後が外国籍住民であったという発表を元にしたものです。

「Stay-at-home policy is a case of exception fallacy: an internet-based ecological study.」
(2021.3.5)

この論文によると、世界の87の異なる国の98%で、ロックダウンやステイホームによって百万人あたりの死亡者数が減少するという根拠は見つかっておりません。日本においても、飲食店の営業自粛や外出の自粛という大まかな対策から、飛沫感染を防止するようなきめ細かな対応(生活を共にしない他者との長時間の飲食を避ける・三密を避ける事の徹底など)を行う**新しい生活様式の定着が重要**と考えております。

参考：東京都感染経路分析

殺人未遂事件の起きた本町地区の防犯体制は？地域医療体制構築は？

③

まにわ充裕
代表質疑②

ひじ市長の市政方針演説に対する質疑②

質疑…見回り・条例整備等で客引き行為を無くし、誰もが安心して立ち寄れる商店街を自指すべきですが、ご所見をお伺い致します。

答弁…本町1区および2区を環境浄化重点推進地区として指定し、本町地区風俗環境浄化パトロールを実施しております。客引き行為等防止に関する条例の整備については、実態調査の結果及び警察等へ寄せられる苦情・環境浄化に対する要望等を把握したうえで総合的に判断してまいります。

補足…質疑後の3月4日に本町地内で少なくとも10人以上が関与する殺人未遂事件が発生し、予算委員会において、安全対策と発信について伺いました。市長は事件を受け、「周辺地域へ「防犯カメラ設置地区」の看板を設置。下校時間帯を中心とした青色防犯パトロール車によるパトロールを継続。防犯カメラの増設により警察と連携を図り、防犯体制を強化し、市民の皆様の安心安全な日常の確保に努めてまいります」とメッセージを発信しております。

質疑…市長部局に地域医療体制の戦略を検討する部署を位置付けるべきですが、ご所見をお伺いいたします。

答弁…地域医療体制に関する戦略を検討する部署の設置については、現時点では考えておりませんが、コロナ禍では状況等を参考に、新たに見込まれる事務に関する調査や担当者へのヒアリング等を通じて、人員配置を含め組織体制の見直しについて調査研究してまいります。

コロナワクチン接種の一つの考え方（日本人の死亡統計から）

①

	人口(万人)	陽性者数(人)	死者数(人)	感染時、死亡率	割合は？
80代以上	1,178	35,883	4,999	13.9%	7人に1人
70代	1,590	34,461	1,816	5.3%	19人に1人
60代	1,546	38,084	579	1.5%	67人に1人
50代	1,669	58,038	178	0.3%	333人に1人
40代	1,805	62,858	63	0.1%	1000人に1人
30代	1,388	65,789	16	0.02%	5000人に1人
20代	1,273	95,774	3	0.003%	33000人に1人
10代	1,100	28,789	0	0.0%	
10歳未満	963	12,608	0	0.0%	

*総務省人口推計2月報、東洋経済令和3年3月10日数値を参考に、まにわ作成

重症化リスク因子は、男性・年齢上昇・糖尿病・脂質異常症・高尿酸血症、慢性肺疾患とされています(国立感染症研究所)。ワクチン接種はその他、**①重症化予防効果、②副反応の出現率と程度、③他者への感染予防効果等の最新状況**などを確認し、**自らの意思で判断**下さい。なお、日本は3/19時点で、100万人あたりの感染者数はアメリカの25分の1とワクチンによらず欧米の国より感染が少なかった事実があります。*ただし、感染した場合の死亡率は両国で大きく変わっておりませんでした。**公的情報も確認し、判断は自己責任でお願いいたします。**【伊勢崎市コロナワクチンコールセンターの電話番号は0570-017394】

新市長にとって初の予算編成となりましたが、内容は？

④

まにわ充裕
予算要望

令和3年度当会派予算要望と提示された予算の所感

- 1 学校健診の側弯症発見率向上について
 - 2 新型コロナウイルス対応について
 - 3 事務事業評価と給与表の改定について
 - 4 公共施設の運営について
 - 5 公会計の整備と活用について
 - 6 シティプロモーションについて
 - 7 子育て支援について
 - 8 水道事業及び公共施設等総合管理について
 - 9 最先端技術（RPA）の活用について
 - 10 PTA活動見直しの協働について
 - 11 行政手続き・案内の改善について
 - 12 デマンド交通の導入（高齢者の移動支援）について
 - 13 学習支援の充実・教職員負担軽減について
 - 14 コミュニティスクールの拡充について
- 令和3年度予算要望を五十嵐前市長に令和2年10月23日に左記の項目について行っておりました。
- ひじ新市長の初登庁は1月25日。議会ですっかりと予算案を審議しましたが、大胆な再編成は時期的に困難であったと推察しました。
- 当会派の要望事項の中では、7においてファミリーサポート事業の充実が予算措置されており、9においては業務の自動化の推進が11においては申請手続きのオンライン化・簡略化の意思が示されています。

12年振りの市長による施政方針演説、真剣議論を交わしました

②

まにわ充裕
代表質疑①

ひじ市長の市政方針演説に対する質疑①

質疑…飲食店ばかりではなく、関連業種や観光業などの経済の落ち込みは著しいものがあります。又、事業者だけでなく、そこで雇用されている個人にも焦点を当てて支援を頂きたいのです。市独自の緊急雇用対策についてのご所見をお伺いいたします。

答弁…市の広報車による5か国語の広報や啓発のほり、県と市の合同訪問等を実施しました。心の健康については自殺に繋がる危機要因を減らすことが出来るよう包括的な支援を実施してまいります。

質疑…様々なご協力の元に行った伊勢崎市緊急事態宣言は、最大限の周知は図られましたが？守らなければいけない命は、高齢者・基礎疾患保有者・外国籍住民だけでなく、子ども・勤労世代も同様です。昨年の子どもの自殺は過去最多、女子高校生は2倍です。成育医療研の調査では高校生の3割にうつ病が見られ、6%が毎日死にたいと思ってしまうそうです。失業・経済苦による自殺も今後増加する可能性があります。命を守る対応を総合的に進めて頂きたく、今後は宣言や時短要請に寄らない全世代の命を守る対応が必要と思っておりますが、ご所見をお伺いいたします。